令和６年度

第１回　高崎市新町地域振興協議会　次第

日　時：令和６年７月３１日（水）
　　午後１時３０分開会
会　場：新町支所　３階 大ホール

１　開　　会

２　挨　　拶

３　議　　事
（１）新町地域に関わる事業報告について

（２）新町地域のまちづくりに関する意見について

４　連絡事項

５　閉　　会

〈配布資料〉

資 料 １　新町地域に関わる事業報告一覧

資 料 ２　新町地域のまちづくりに関する意見一覧

参考資料　令和６年度当初予算の概要

資料１

新町地域に関わる事業報告一覧

ページ	事　業　名	所　　属
1	国道17号本庄道路事業	都市計画課
3	新町中排水区の雨水対策事業	整備課
5	災害対策事業	防災安全1課

新町地域に関わる事業報告書

事務事業名	国道17号本庄道路事業	所属 （支所）	都市整備部都市計画課 （新町支所地域振興課）
実施期間	平成15年度～	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

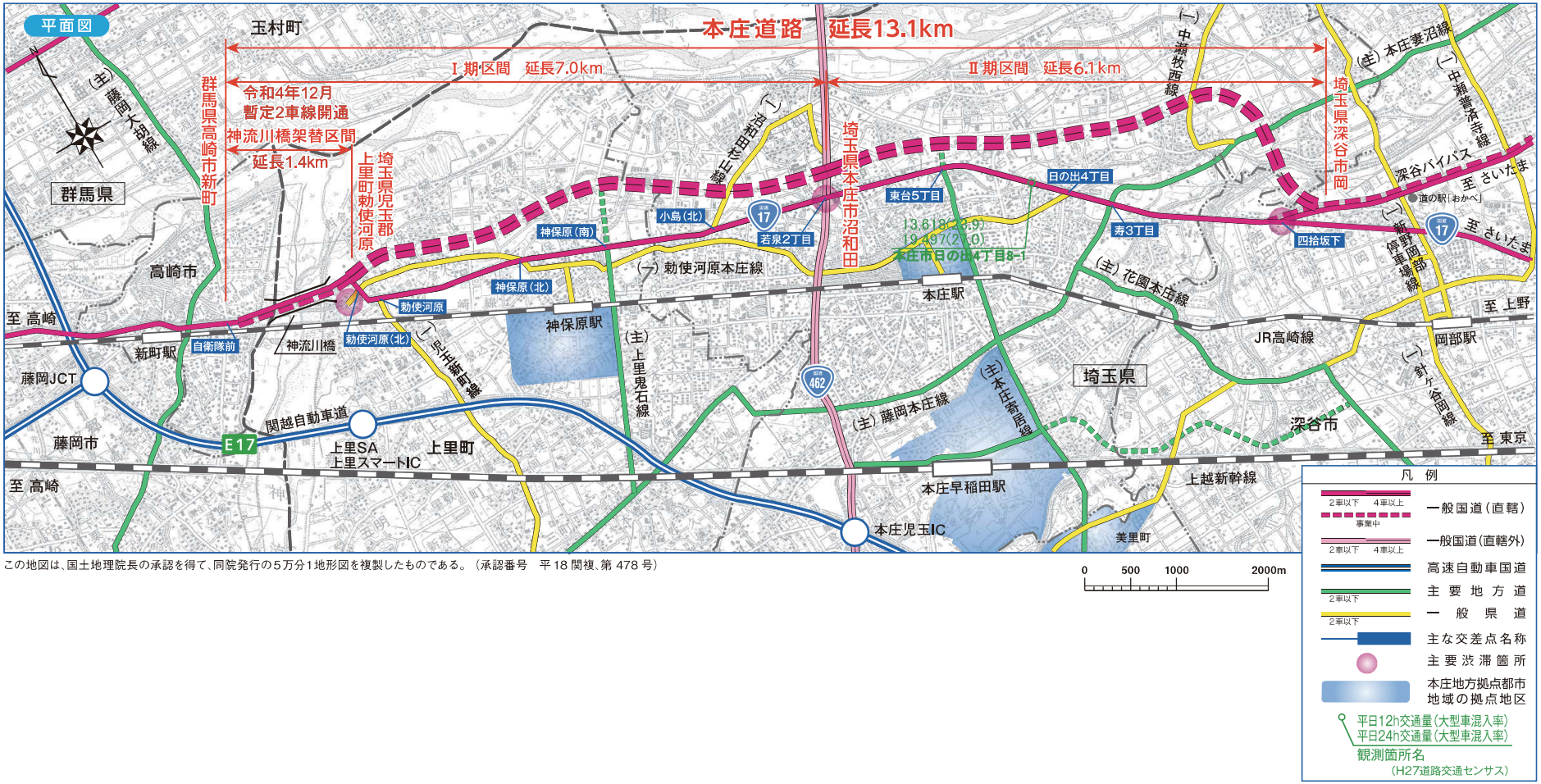
対　象		
実施目的	具体的手段	そ　の　他
国道17号の交通渋滞の緩和、事故対策及び沿道環境の改善、また神流川橋の架け替えによる防災・震災対策のため	・国道17号本庄道路の整備 ・神流川橋の架け替え	道路延長　L=13.1km

【事業実績】

区分 （千円）	現計 予算額	決算 見込額	令和5年度事業実績
合計			（Ⅰ期）:埼玉県本庄市沼和田～群馬県高崎市新町 計画延長　L＝7．0km（うち高崎市区間　L＝0．5km） ・事業進捗率　　約69％ ・用地進捗率　　約99％ （Ⅱ期）:埼玉県深谷市岡～埼玉県本庄市沼和田 計画延長　L＝6．1km ・事業進捗率　　約　1％ ・用地進捗率　　0％
国			
県			
地方債			
その他			
一般			

【事業予定】

区分 （千円）	当初 予算額	令和6年度事業予定
合計		（Ⅰ期） ・調査設計、用地買収、改良工、橋梁上部・下部工を実施。 （Ⅱ期） ・調査設計を実施。
国		
県		
地方債		
その他		
一般		



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。（承認番号　平18関複、第478号）

新町地域に関わる事業報告書

事務事業名	新町中排水区の雨水対策事業	所属 （支所）	下水道局整備課 （新町支所地域振興課）
実施期間	令和2年度～	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

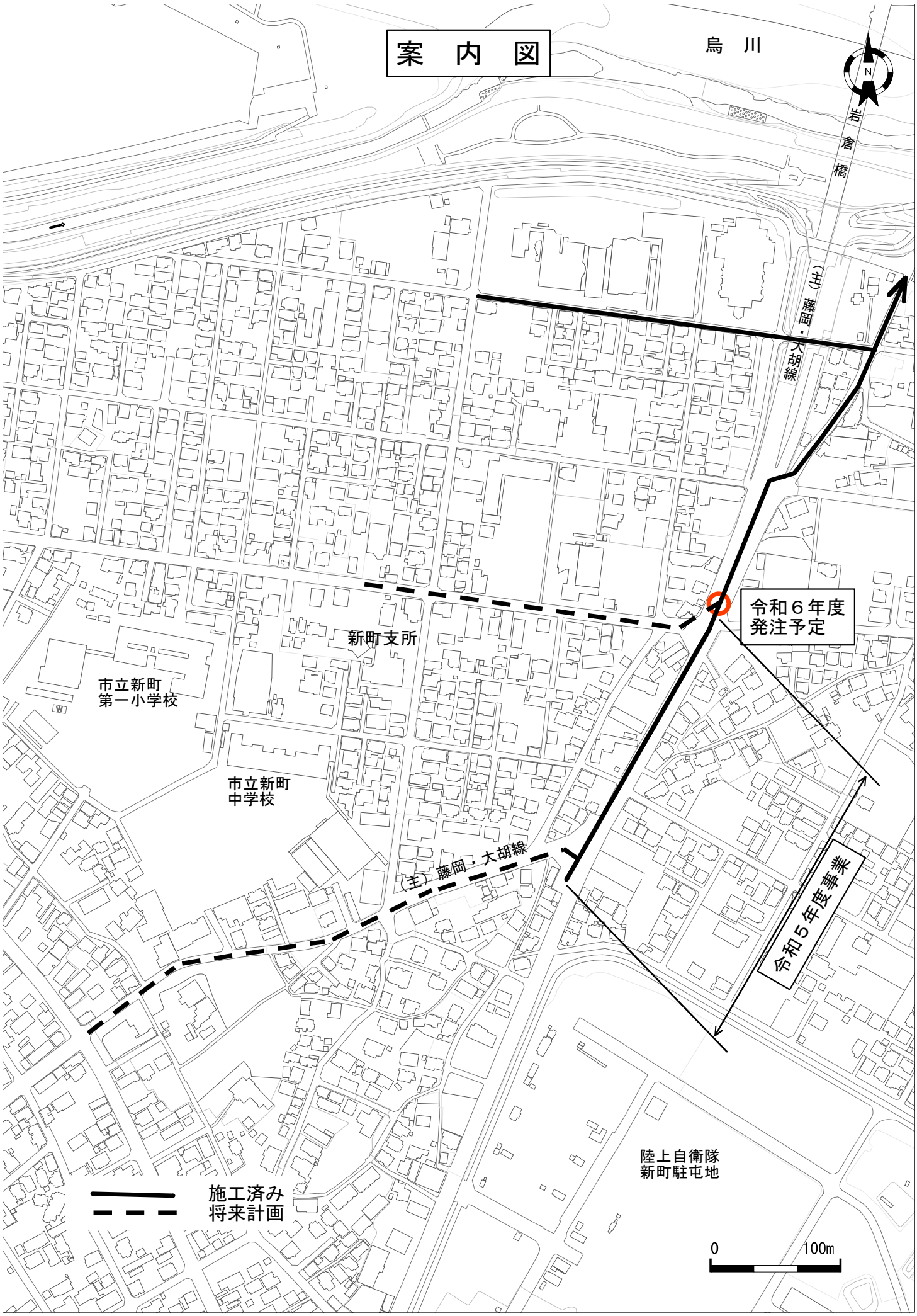
対　象		
実施目的	具体的手段	そ　の　他
新町中排水区における雨水対策のため	高崎市公共下水道事業計画に基づき雨水幹線を整備する	排水区面積　A=54．0ha

【事業実績】

区分 （千円）	現計 予算額	決算 見込額	令和5年度事業実績
合計		397,709	繰越工事　（完成予定：令和6年10月31日） ・烏川雨水3－3号幹線築造工事（第1工区） 路線延長　L＝219．5m 管渠工φ1500mm（推進工法） 繰越工事　（完成予定：令和6年10月31日） ・烏川雨水3－3号幹線築造工事（第1工区）に伴う付帯工事 路線延長　L=17．8m 管渠工（推進工法）φ500mm　L＝15．7m
国		94,700	
県			
地方債		183,700	
その他			
一般		119,309	

【事業予定】

区分 （千円）	当初 予算額	令和6年度事業予定
合計	36,000	・烏川雨水3号幹線特殊人孔築造工事 特殊人孔　1基 発注予定：令和6年10月下旬
国	4,000	
県		
地方債	32,000	
その他		
一般		


案　内　図
烏　川
北倉橋
(主)藤岡・大胡線
令和６年度
発注予定
新町支所
市立新町
第一小学校
市立新町
中学校
(主)藤岡・大胡線
令和５年度事業
陸上自衛隊
新町駐屯地
施工済み
将来計画
0
100m

新町地域に関わる事業報告書

事務事業名	災害対策事業	所属 （支所）	総務部防災安全1課 （新町支所地域振興課）
実施期間	令和6年4月～令和6年8月	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対　象	災害救助用ボート整備	
実施目的	具体的手段	そ の 他
烏川、神流川、温井川の3河川に囲まれた全域が洪水浸水想定区域にある新町地域に災害救助用ボートを配備し、水害発生時の救助活動に備える。	消防団詰所や支所などの公共施設に災害救助用ボート10艇と船外機等を配備する。	

【事業実績】

区分 （千円）	現計 予算額	決算 見込額	令和5年度事業実績
合計			
国			
県			
地方債			
その他			
一般			

【事業予定】

区分 （千円）	当初 予算額	令和6年度事業予定
合計	10，000	・災害救助用ボート、船外機、救命胴衣購入 令和6年4月～令和6年8月 ・水難救助訓練 令和6年8月中旬
国		
県		
地方債		
その他		
一般	10，000	

災害救助用ボート配備予定図

資 料 2

新町地域のまちづくりに関する意見一覧

新町支所　地域振興課

■新町地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意　　見	回　　答
１．事業者支援について	高崎市には、常日頃から新町地域の振興に多大なご支援・ご協力を賜り感謝申し上げる。 新町商工会では、地域の方々に楽しんでいただけるよう、花火大会や商工祭、オトナヨミセなど様々なイベントを開催している。しかし昨今、新規の青年部加入者が減少しており、このままでは近い将来、このようなイベントができなくなると危惧している。 そこで、若い方が事業を始めやすくなるような仕組み作りなど、市がどのような支援を行っているのか、また今後、事業者を増やすための支援をどのように行っていくのか伺いたい。	本市では市内事業者に対して様々な支援策に取り組んでいるところだが、若い方が事業を始めようとする際の支援策として、制度融資の一つである「創業支援資金」や「まちなか商店リニューアル助成」が挙げられる。 「創業支援資金」においては、本市独自の取り組みとして、創業時の資金の借り入れにかかる信用保証料と、５年間の利息を全額補助している。 また、「まちなか商店リニューアル助成」においては、商売を始める際に必要な改装や備品の購入に対して、経費の２分の１、最大１００万円まで補助しており、若い方の市内での開業を後押ししている。 これらの本市独自の支援策は大変好評であることから、今後も継続することが重要であると考えているが、引き続き若い方の創業の動向など、状況把握に努め、支援の充実につなげたいと考えている。

■新町地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意　　見	回　　答
２．通学路の交通安全について	まず最初に、高崎市が来年度から給食費の一部無償化を決定したことに対し、ＰＴＡ会長として感謝申し上げる。 新町地域は小さな町であり、小中学校の登下校時に歩道を確保できない狭い道路を通って通学をする児童・生徒も少なくない。 しかし、そういった狭い道路でスピードを出して走る車も多く、保護者からも心配の声が多く聞かれ、保護者の一人としても児童・生徒の安全性の確保は重要であると考える。 そこで、児童・生徒の安全性を確保するために市ではどのような対策をとっているか伺いたい。	各学校では、新年度や新学期を迎えるに当たり、教職員や保護者のほか、地域やＰＴＡの方々のご協力をいただき、通学路における車両の通行量や速度状況などを把握するとともに、様々な視点で通学路の安全点検を行い、危険箇所の把握に努めている。今後は、関係各課や警察等による通学路の合同点検を実施し、車両のスピードを抑制する安全対策を行う。 交通安全教育については、小学校においては、入学式や始業式、長期休業前に、警察や交通指導員と連携した交通講話や交通安全教室を行い、交通ルールの遵守や自転車に乗る際のヘルメット着用などについて指導している。特に、多くの子どもが自転車に乗り始める市内全ての小学校３年生を対象に、和田橋交通公園において学校ごとに自転車交通教室を実施し、実技訓練を通して自転車の正しい乗り方や交通ルールの学習を行っている。 また中学校においては、通学のほか、部活動等で自転車を利用するなど、使用する機会が増えることから、入学時に警察や交通安全協会等による交通安全教室や、必要に応じて、担任、顧問による交通安全指導の徹底を図っている。

■新町地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意　　見	回　　答
３．新町地域の道路事情に伴う火災消火の対応について	６月１日から新町地域でも、おとしよりぐるりんタクシーの運行が開始となった。免許を返納した人や、足の悪い高齢者等の買い物や病院への新たな移動手段として、大いに役立つものであり、一住民としてもありがたく感じている。 さて、この機会に新町地域の道路事情を調べると、車がすれ違えない道路や緊急車両が通行できないような狭い道路も散見される。 そこで、新町地域で消防車等の緊急車両が通行できない道路を把握されているのか。またそういった場所での火災時に、消防車をホースで繋ぐなどして消火作業が行われるかと思うが、その検証はされているのか伺いたい。	新町地域の道路事情については、消防局新町分署、消防団新町方面隊を中心に、常日頃から消火栓等の水利事情と併せて調査を実施し、精通を図っている。 また、道路工事等による通行止めについても、届け出された情報を車両に設置されているナビゲーションシステム機能を搭載したモニターに反映し、通行止めなどを避けて出動しているため、緊急走行においての支障はない。 緊急車両が進入できない狭隘な場所での消防活動については、定期的に消防団と連携し、消防車両に装備されているホースカーやホース背負器などのホース延長資機材を駆使した中継送水訓練を実施、検証し、万全を期している。

参考資料

令 和 6 年 度
（ ２０２４年度 ）

当初予算の概要

◇ 予 算 規 模 …… 1

◇ 一般会計予算の概要 …… 2

１ 歳 入
２ 歳 出（目的別）
３ 歳 出（性質別）
４ その他の資料

◇【令和6年度当初予算の主要事業】 …… 7

高 崎 市

予 算 規 模

- **一般会計　1,682億9,000万円（前年度対比＋1.3%）**
  - 特別会計　**778億4,825万円**　（前年度対比＋0.5%）
  - 水道事業会計　**102億434万円**（前年度対比△2.6%）
  - 公共下水道事業会計　**139億4,962万円**（前年度対比△0.5%）
  - 総予算　**2,702億9,221万円**　（前年度対比＋0.8%）

〈各会計別予算〉

会計別		令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減率
一般会計		1,682 億 9,000 万円	1,661 億 5,000 万円	1.3
特別会計		778 億 4,825 万円	774 億 5,806 万円	0.5
	国民健康保険事業特別会計	341 億 152 万円	347 億 5,910 万円	△ 1.9
	介護保険特別会計	371 億 8,426 万円	366 億 7,860 万円	1.4
	牛伏ドリームセンター事業特別会計	1 億 2,533 万円	1 億 1,733 万円	6.8
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	1 億 3,991 万円	1 億 2,230 万円	14.4
	後期高齢者医療特別会計	61 億 8,758 万円	56 億 5,229 万円	9.5
	農業集落排水事業特別会計	1 億 966 万円	1 億 2,844 万円	△ 14.6
小計		2,461 億 3,825 万円	2,436 億 806 万円	1.0
水道事業会計		102 億 434 万円	104 億 7,426 万円	△ 2.6
公共下水道事業会計		139 億 4,962 万円	140 億 1,891 万円	△ 0.5
合計		2,702 億 9,221 万円	2,681 億 123 万円	0.8

※万円未満四捨五入。計欄の予算額と各会計の予算額の合計は一致しません。

一般会計は1.3%の増

主な新規・拡大事業

- 公立保育所緊急修繕・整備　0.5億円（＋0.3億円）
- 児童相談所整備事業　11.4億円（＋4.3億円）
- 児童手当の拡充　56.8億円（＋5.6億円）
- 帯状疱疹ワクチン予防接種費用の助成　0.9億円（新規）
- 労使会館建設事業　9.8億円（＋1.3億円）
- 観音山・自然歩道整備事業　0.6億円（＋0.3億円）
- 榛名湖水上ステージ整備　0.2億円（新規）
- 支所地域維持補修工事　2.1億円（＋0.3億円）
- 豊岡新駅（仮称）設置事業　3.0億円（＋1.3億円）
- 高崎駅東口栄町地区第一種市街地再開発　2.3億円（＋2.3億円）
- 宮元町第二地区優良建築物等整備　6.3億円（＋5.2億円）
- 烏川かわまちづくり整備事業　2.8億円（＋2.5億円）
- 災害対策用電気自動車及び移動式トイレトレーラー等購入　0.7億円（新規）
- 学校給水設備改修工事　0.5億円（＋0.3億円）
- 学校等給食の食材価格高騰対策　1.8億円（＋1.2億円）

主な終了・縮小事業

- 新型コロナウイルス感染症対策事業　終了（△3.2億円）
- 高浜クリーンセンター建設事業　縮小（△9.4億円）
- 商工業融資資金預託金　縮小（△4.5億円）

特別会計は0.5%の増

- 国民健康保険事業特別会計
  保険給付費の減額
- 介護保険特別会計
  介護サービス給付費等の増額
  高齢者福祉なんでも相談センター（仮称）の開設
- 後期高齢者医療特別会計
  保険給付費負担金の増額

一般会計予算の概要

1 歳入

（単位：千円、％）

区　　分	令和６年度		令和５年度		増　減　額	増減率
	予　算　額	構成比	予　算　額	構成比		
1 市　税	62,999,213	37.4	63,735,633	38.4	△ 736,420	△ 1.2
2 地方譲与税	1,341,375	0.8	1,264,454	0.8	76,921	6.1
3 利子割交付金	16,000	0.0	18,000	0.0	△ 2,000	△ 11.1
4 配当割交付金	280,000	0.2	370,000	0.2	△ 90,000	△ 24.3
5 株式等譲渡所得割交付金	210,000	0.1	240,000	0.1	△ 30,000	△ 12.5
6 法人事業税交付金	1,010,000	0.6	900,000	0.6	110,000	12.2
7 地方消費税交付金	9,700,000	5.8	9,500,000	5.7	200,000	2.1
8 ゴルフ場利用税交付金	110,000	0.1	110,000	0.1	－	－
9 環境性能割交付金	170,000	0.1	100,000	0.1	70,000	70.0
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	26,279	0.0	27,427	0.0	△ 1,148	△ 4.2
11 地方特例交付金	1,924,919	1.1	450,000	0.3	1,474,919	327.8
12 地方交付税	14,500,000	8.6	13,300,000	8.0	1,200,000	9.0
うち普通交付税	12,600,000	7.5	11,500,000	6.9	1,100,000	9.6
13 交通安全対策特別交付金	80,000	0.0	80,000	0.0	－	－
14 分担金及び負担金	364,201	0.2	355,972	0.2	8,229	2.3
15 使用料及び手数料	2,531,848	1.5	2,513,023	1.5	18,825	0.7
16 国庫支出金	25,878,523	15.4	24,723,178	14.9	1,155,345	4.7
17 県支出金	11,228,631	6.7	10,970,390	6.6	258,241	2.4
18 財産収入	277,601	0.2	380,310	0.2	△ 102,709	△ 27.0
19 寄附金	210,005	0.1	190,005	0.1	20,000	10.5
20 繰入金	6,783,174	4.0	6,099,871	3.7	683,303	11.2
うち財政調整基金繰入金	4,300,000	2.6	3,900,000	2.3	400,000	10.3
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	－	－
22 諸収入	17,915,530	10.7	19,001,936	11.4	△ 1,086,406	△ 5.7
23 市　債	10,732,700	6.4	11,819,800	7.1	△ 1,087,100	△ 9.2
うち臨時財政対策債	800,000	0.5	1,800,000	1.1	△ 1,000,000	△ 55.6
合　　計	168,290,000	100.0	166,150,000	100.0	2,140,000	1.3

◆ 市税は、629億9,921万円を計上しました。市民税個人は、定額減税が実施されることから4.6％減の213億6,427万円、市民税法人は、令和5年度の決算見込み及び景気の緩やかな回復基調の継続を見込み、前年度対比1.3％増の59億5,887万円、固定資産税は、評価替えによる減収が見込まれるものの、企業の設備投資などが増加傾向にあることから、前年度対比0.1％増の262億8,751万円を見込みました。

◆ 地方消費税交付金は、消費の伸びや実績等を勘案し、前年度対比2.1％増の97億円を見込みました。

◆ 地方特例交付金は、定額減税による市民税個人所得割の減収額の補填を勘案し、前年度対比327.8％増の19億2,492万円を見込みました。

◆ 普通交付税は、令和5年度の実績額に地方財政計画を勘案し、前年度対比9.6％増の126億円を見込みました。

◆ 基金繰入は、財政調整基金から43億円（前年度39億円）、減債基金から12億円（前年度10億円）のほか、廃棄物処理施設整備等基金から8.2億円（前年度5.8億円）等を計上しました。

◆ 市債は、児童相談所整備、烏川かわまちづくり整備及び労使会館建設などにより建設等事業債が増額となる一方、高浜クリーンセンター建設等の建設等事業債の減額や、地方財政計画を踏まえた臨時財政対策債の減額を見込み、前年度対比9.2％減の107億3,270万円としました。

２ 歳出（目的別）

（単位：千円、％）

区　　分	令和６年度		令和５年度		増　減　額	増減率
	予　算　額	構成比	予　算　額	構成比		
1 議会費	670,868	0.4	681,263	0.4	△ 10,395	△ 1.5
2 総務費	16,285,235	9.7	16,079,317	9.7	205,918	1.3
3 民生費	63,886,278	38.0	60,199,646	36.2	3,686,632	6.1
4 衛生費	20,754,280	12.3	21,822,126	13.1	△ 1,067,846	△ 4.9
5 労働費	1,158,179	0.7	1,083,723	0.7	74,456	6.9
6 農林水産業費	1,802,547	1.1	2,684,542	1.6	△ 881,995	△ 32.9
7 商工費	17,943,901	10.7	18,488,785	11.1	△ 544,884	△ 2.9
8 土木費	11,714,473	6.9	11,422,340	6.9	292,133	2.6
9 消防費	4,614,846	2.7	4,599,019	2.8	15,827	0.3
10 教育費	15,193,220	9.0	14,514,858	8.7	678,362	4.7
11 災害復旧費	6	0.0	6	0.0	－	－
12 公債費	13,966,167	8.3	14,274,375	8.6	△ 308,208	△ 2.2
13 予備費	300,000	0.2	300,000	0.2	－	－
合　　計	168,290,000	100.0	166,150,000	100.0	2,140,000	1.3

◆ 総務費は、選挙経費などが減少する一方、定年退職手当などの増加により、前年度対比2億592万円、1.3％の増額となっています。

◆ 民生費は、国民健康保険事業特別会計への繰出金などが減少する一方、子どものための教育・保育給付費、障害福祉費や児童相談所整備事業が増加するほか、児童手当の拡充などにより、前年度対比36億8,663万円、6.1％の増額となっています。

◆ 衛生費は、出産入院費用支援金や帯状疱疹ワクチン予防接種の開始などにより増加する一方、高浜クリーンセンター建設事業などの減少により、前年度対比10億6,785万円、4.9％の減額となっています。

◆ 労働費は、労使会館建設事業などの増加により、前年度対比7,446万円、6.9％の増額となっています。

◆ 農林水産業費は、農業融資資金貸付金や農地耕作条件改善事業補助金などの減少により、前年度対比8億8,200万円、32.9％の減額となっています。

◆ 商工費は、産業立地振興奨励金や事業者用融資に伴う金融機関への預託金などの減少により、前年度対比5億4,488万円、2.9％の減額となっています。

◆ 土木費は、豊岡新駅（仮称）設置事業や烏川かわまちづくり整備事業などが増加するほか、高崎駅東口栄町地区第一種市街地再開発や宮元町第二地区優良建築物等整備などの増加により、前年度対比2億9,213万円、2.6％の増額となっています。

◆ 教育費は、学校等給食の食材価格高騰対策、小・中学校の外壁改修工事や給水設備改修工事費などの増加により、前年度対比6億7,836万円、4.7％の増額となっています。

３ 歳出（性質別）

・ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費…７８２億５，３６３万円、前年度対比４．２％の増
・ 建設事業などの投資的経費…２０３億２７２万円、前年度対比２．３％の減

（単位：千円、％）

区　　分	令和６年度		令和５年度		増　減　額	増減率
	予　算　額	構成比	予　算　額	構成比		
(1)義務的経費	78,253,633	46.5	75,094,632	45.2	3,159,001	4.2
①人件費	25,265,107	15.0	24,156,443	14.5	1,108,664	4.6
②扶助費	39,022,359	23.2	36,663,814	22.1	2,358,545	6.4
③公債費	13,966,167	8.3	14,274,375	8.6	△ 308,208	△ 2.2
(2)投資的経費	20,302,715	12.1	20,780,643	12.5	△ 477,928	△ 2.3
①普通建設事業	20,302,709	12.1	20,780,637	12.5	△ 477,928	△ 2.3
補助事業	12,165,820	7.2	12,771,044	7.7	△ 605,224	△ 4.7
単独事業	7,871,739	4.7	7,715,735	4.6	156,004	2.0
国直轄事業負担金	－	－	13,500	0.0	△ 13,500	皆減
県営事業負担金	265,150	0.2	280,358	0.2	△ 15,208	△ 5.4
②災害復旧事業	6	0.0	6	0.0	－	－
(3)その他経費	69,733,652	41.4	70,274,725	42.3	△ 541,073	△ 0.8
①物件費	23,353,139	13.9	22,400,831	13.5	952,308	4.3
②補助費等	20,949,803	12.4	21,044,351	12.7	△ 94,548	△ 0.4
③貸付金	14,394,437	8.5	15,618,987	9.4	△ 1,224,550	△ 7.8
④繰出金	9,263,551	5.5	9,173,539	5.5	90,012	1.0
⑤その他	1,772,722	1.1	2,037,017	1.2	△ 264,295	△ 13.0
合　　計	168,290,000	100.0	166,150,000	100.0	2,140,000	1.3

◆ 人件費は、職員数の増加、定年退職手当や嘱託職員の勤勉手当の支給などにより、前年度対比11億866万円、4.6％の増額となっています。

◆ 扶助費は、障害福祉費の増加や児童手当の拡充、保育所等への給付費の増加などにより、前年度対比23億5,855万円、6.4％の増額となっています。

◆ 普通建設事業は、児童相談所整備事業、烏川かわまちづくり整備事業及び労使会館の建設工事費などが増加する一方、高浜クリーンセンター建設工事費などが減少するため、前年度対比4億7,793万円、2.3％の減額となっています。

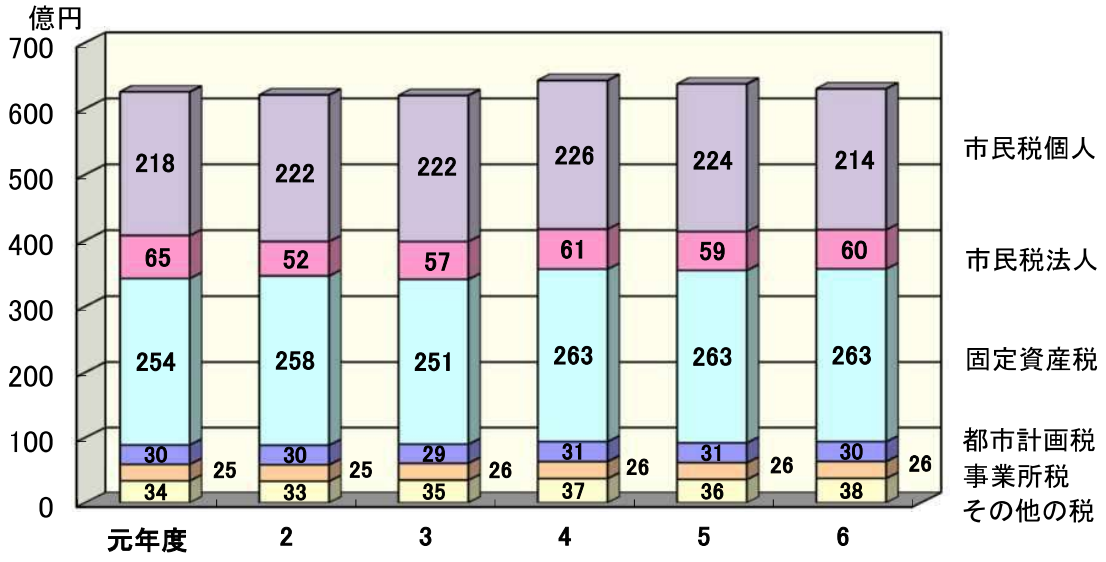
◆ 物件費は、市有施設の光熱水費や帯状疱疹ワクチン予防接種の開始などにより、前年度対比9億5,231万円、4.3％の増額となっています。

◆ 補助費等は、後期高齢者医療広域連合への負担金の増加や出産入院費用支援金が増加する一方、医療提供体制整備補助金や下水道事業負担金などの減少により、前年度対比9,455万円、0.4％の減額となっています。

◆ 繰出金は、国民健康保険事業特別会計や後期高齢者医療特別会計などが減少する一方、介護保険特別会計における保険給付費の増加などにより、前年度対比9,001万円、1.0％の増額となっています。

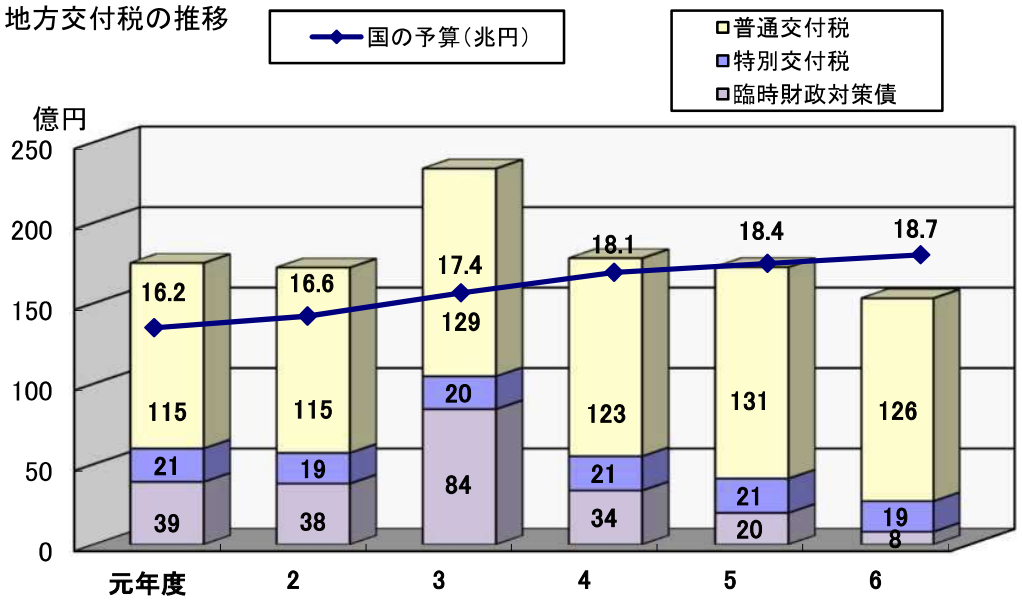
4　その他の資料

（1）地方税の推移（見込み）



※元年度から4年度までは決算額　　※5年度・6年度は当初予算額

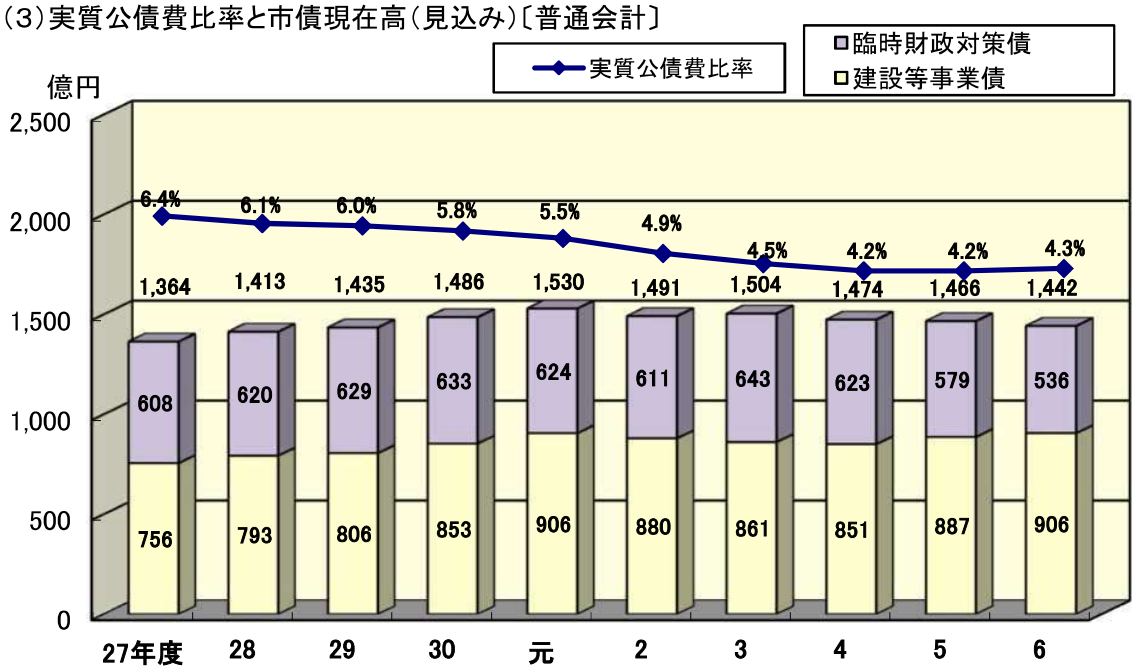
（2）地方交付税の推移



※元年度から4年度までは決算額
（臨時財政対策債は発行可能額）

※5年度は決算見込額
※6年度は当初予算額

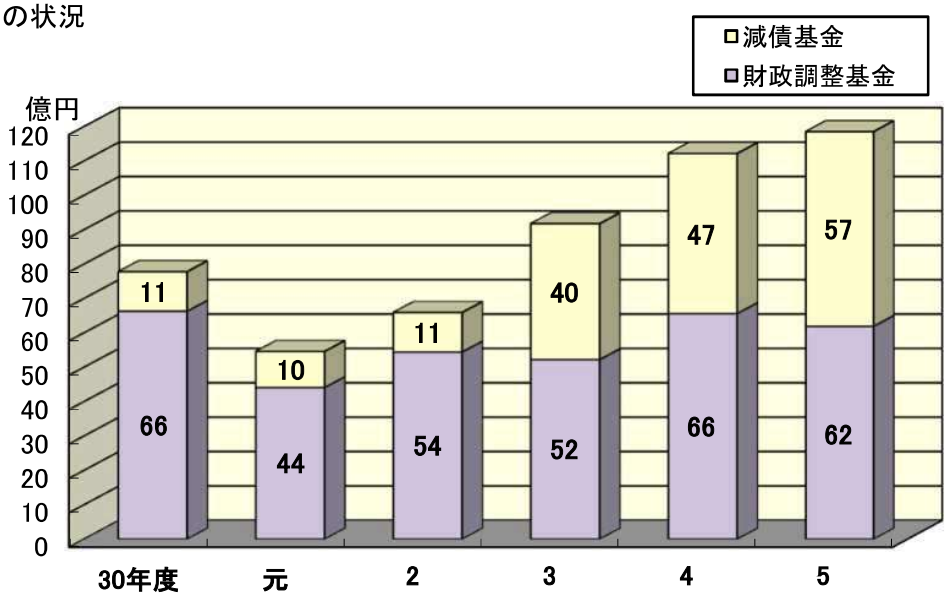
（3）実質公債費比率と市債現在高（見込み）〔普通会計〕



※27年度から4年度までは決算額　　※5年度は決算見込額

※6年度は当初予算での推計値

（4）基金の状況



※30年度から4年度までは決算額　　※5年度は決算見込額

○元年度に財政調整基金が減少しているのは、台風19号被害への対応によるものです。

○3年度に減債基金が増加しているのは、3年度臨時財政対策債の償還分（23億円）の積立によるものです。

【令和６年度当初予算の主要事業】

《教育と人づくり》

事　業　・　概　要	予　算　額
	千円
（１）くらぶち英語村運営事業 全国の小中学生を対象に、倉渕地域の豊かな自然環境、農山村の生活文化及び歴史的資源を活用し、生きた英語に囲まれた環境の中で集団生活及び自然体験を行う山村留学を実施する。	171,736
（２）英語教育指導事業 さらなる英語力向上を図るため、ＡＬＴ（外国語指導助手）を増員し、引き続き市内の全小中学校へ配置する。また、中学２年生を対象に英語４技能テストを実施し、英語力をバランスよく育成するための指導に活かす。	434,257
（３）スクールソーシャルワーカーの増員 不登校対策としてスクールソーシャルワーカーを増員し、社会福祉面から問題を抱えている児童生徒とその家族への支援の強化を図る。	27,797
（４）スクールカウンセラーの配置 新たに市独自でスクールカウンセラーを配置することにより、不登校や子育て等で悩みを抱えている児童生徒や保護者等に対する心理面での支援を充実させる。	3,395
（５）ヤングケアラーＳＯＳサービス事業 家族の介護や家事、きょうだいの世話等をするヤングケアラーの負担を軽減するため、無料でサポーターを派遣し支援を行う。	97,645
（６）学校施設維持補修等の推進 学校施設の環境改善を図るため、トイレ洋式化や外壁改修、体育館照明ＬＥＤ化等の工事を重点的に行う。 ・トイレ洋式化工事　120,000千円 ・外壁改修工事　122,000千円 ・給水及び消防設備改修工事　65,300千円 ・体育館照明ＬＥＤ化工事　19,000千円 ・特別支援学校校舎改修工事　19,000千円	538,958
（７）学校体育館への空調設備設置 学校体育館への空調設備の設置を進めることにより、学校活動における熱中症等の健康被害を防ぐとともに、災害時における避難者の生活環境の改善を図る。	134,000
（８）食材価格高騰への給食材料費支援 急激な食材価格の高騰に伴い、保護者負担が増加しないよう、給食材料費の高騰分を公費で負担する。	185,992
（９）ＧＩＧＡスクール構想の推進 小・中・特別支援学校等に配備した1人1台のタブレット端末を利活用し、授業における学習内容をより深化・定着させるよう学習活動の充実を図る。	297,296

《産業の振興》

事業・概要	予算額
	千円
（１）労使会館建設事業 勤労者福祉の一層の充実と健康維持・増進を図るため、体育館機能を加えた新たな施設を整備する。	976,168
（２）農業の振興（地産多消の推進）	231,000
・農業者新規創造活動事業補助　150,000千円 新品種・新商品の開発や、商工業者と連携した６次産業化の推進のほか、市内産農畜産物の販路拡大に向けた取り組みに挑戦する農業者を総合的に支援する。 ・農地再生推進事業補助　61,000千円 ・かがやけ新規就農者応援給付金　20,000千円	
（３）地元企業への支援策	1,414,790
・中小企業経営安定化助成　840,000千円 ・職場環境改善事業　100,000千円 ・まちなか経済情報センター事業　11,790千円 ・中小企業者資格取得支援事業　13,000千円 ・まちなか商店リニューアル助成　300,000千円 ・飲食店衛生向上リニューアル特別助成　50,000千円 ・住環境改善助成　100,000千円	
（４）ビジネス誘致の推進 市内への企業誘致の促進や市内企業の定着を推進するための取り組みを支援する。 ・高崎シティプロモーション事業補助　30,000千円 ・産業立地振興奨励金　312,600千円 ・ビジネス立地奨励金　34,000千円	376,600

《文化と歴史を活かした創造的な高崎》

事業・概要	予算額
	千円
（１）文化事業の振興 芸術文化活動の育成・促進や地域の文化活動を支援し、賑わいを創出する。 ・まちなか音楽活動助成事業補助　10,000千円 ・TAKASAKI CITY ROCK FES.開催補助　50,000千円 「高崎芸術劇場」「Ｇメッセ群馬」「高崎アリーナ」で屋内型の大型音楽フェスを同時開催することにより、高崎の音楽文化の振興及び県内外からの集客を図る。 ・その他各種開催補助等　247,680千円	307,680
（２）スポーツの振興 ・スポーツイベント等開催支援　80,724千円 ・高崎市民スポーツパーク（仮称）の整備　102,108千円	182,832
（３）歴史を活かしたまちづくり ・「世界の記憶」上野三碑の保存活用　40,615千円 上野三碑の維持管理を行うとともに、多胡碑覆屋内装の改修工事を実施し、世界的価値の更なる理解促進に向けた普及啓発を図る。 ・榛名神社保存修理事業補助　36,750千円 ・史跡等の保存整備及び発掘調査　157,420千円	234,785

《やさしい眼差しに満ちた市政》

事業・概要		予算額
		千円
（1）子育て関連支援		1,506,984
・子育てＳＯＳサービス事業	32,592千円	
・保育所入所待機解消支援事業	114,000千円	
・病児・病後児保育や一時預かり保育の支援	279,087千円	
・保育・介護人材確保事業	51,720千円	
・「気になる子」支援	59,950千円	
・公立保育所緊急修繕・整備	46,200千円	
・放課後児童クラブの充実	923,435千円	
（2）児童相談所整備事業		1,136,821
年々増加する児童虐待事案に迅速に対応するため、児童相談所の開設に向けた準備を進める。		
（3）福祉の充実		1,660,183
・障害者支援ＳＯＳセンターの運営	15,346千円	
・障害者農業就労施設運営事業	49,235千円	
・おとしよりぐるりんタクシーの運行	314,878千円	
・介護ＳＯＳサービス事業	89,000千円	
・高齢者力仕事ＳＯＳサービス事業	95,133千円	
・高齢者等あんしん見守りシステムの充実	420,439千円	
・高齢者あんしんセンターの運営	608,910千円	
・高齢者世帯買い物ＳＯＳサービス事業	37,242千円	
・高齢者福祉なんでも相談センター（仮称）の開設	30,000千円	
（4）救急医療体制の充実		172,730
・救急患者の受入促進	73,730千円	
・救急患者受入体制整備支援	50,000千円	
・脳卒中患者受入体制強化	40,000千円	
・心疾患患者受入強化	9,000千円	
（5）小児救急医療体制の充実		44,679
・小児救急医療体制整備補助	21,500千円	
・夜間小児救急医療体制の確保	10,756千円	
・小児救急医師の確保	12,423千円	
（6）産科医等確保の支援		105,000
恒常的に不足している産科医等の確保を支援し、安心して子どもを産み育てられる環境整備を推進する。		
（7）母子健康支援事業の充実		713,987
・妊婦初回産科受診料助成	13,000千円	
・妊婦健康診査特別助成	22,700千円	
・不妊・不育症等治療費助成	165,168千円	
・出産入院費用支援	117,000千円	
・新生児難病検査費助成	24,000千円	
・産婦健康診査・産後ケア事業	59,747千円	
・小児慢性特定疾病医療費等特別助成	4,834千円	
・特定疾病小児等特別支援	28,600千円	
・出産・子育て応援事業	278,938千円	
（8）がん対策事業の推進		435,473
・がん検診事業	429,473千円	
・医療用ウィッグ等購入費補助	6,000千円	

《合併した地域の個性を活かした魅力づくり》

事　業　・　概　要		予　算　額
		千円
（１）箕郷多目的運動場（仮称）の整備 高齢者をはじめとする多世代の人が気軽に運動できる施設として、地域の防災拠点機能も兼ね備えた多目的運動場を整備する。		47,065
（２）榛名地域スポーツ振興		39,500
・榛名山ヒルクライムｉｎ高崎	31,000千円	
・榛名湖リゾート・トライアスロンｉｎ群馬	3,500千円	
・榛名湖マラソン	5,000千円	
（３）榛名湖水上ステージの整備 観光スポットとして人気の高い榛名湖の更なる誘客を図るため、ロックコンサート等のイベントを開催できる湖上ステージを整備する。		18,000
（４）牛伏山を花で囲むプロジェクトの推進 牛伏山自然公園の2haを5か年計画で整備し、四季折々の花木を植栽する。		5,000
（５）倉渕・榛名・吉井地域への移住・定住を促進		100,000
（６）市内全域の道路の維持・補修		543,000
・道路補修工事	333,000千円	
・支所地域維持補修工事	210,000千円	

《能登半島地震を踏まえた災害対策の強化》

事　業　・　概　要		予　算　額
		千円
台風や大雨、局地的豪雨等による浸水被害対策として、新町地域に災害救助用ボートを新たに配備するとともに、地震等の災害発生時に移動式電源として活用できる災害対策用電気自動車や車いす対応の移動式トイレトレーラーのほか、災害対策用給水車や水道応急復旧対策車を新たに配備するなど、災害対策の強化を図る。		
（１）災害対策用資機材の整備・充実		140,245
・移動式トイレトレーラーの配備	30,000千円	
・災害救助用ボートの配備	10,000千円	
・大型スポットクーラーの配備	7,000千円	
・災害対策用電気自動車（ＰＨＥＶ）の配備	21,000千円	
・災害対策用給水車の配備	55,000千円	
・水道応急復旧対策車の配備	17,245千円	

《安心・安全な地域社会づくり》

事　業　・　概　要	予算額
	千円
（1）防災対策事業の推進	58,960
・消防団車両の充実　37,960千円	
・自主防災組織への支援　21,000千円	
（2）道路穴ぼこ改修特別整備	200,000
健全な道路環境を保持し、市民生活の安心安全を確保するために緊急舗装工事を5か年で集中的に実施する。	
（3）交通安全対策	134,700
・通学路緊急安全対策工事　20,000千円	
・通学路ハンプ設置工事　2,700千円	
・交通安全施設整備事業　112,000千円	
（4）高齢者等のごみ出し支援	144,330
自身でのごみ出しが困難な高齢者世帯等を対象に、戸別訪問によるごみ収集を実施する。	
（5）高浜クリーンセンター建設事業	10,606,752
施設の建設及びプラント設備工事を進める。 令和7年2月供用開始予定。	

《大勢の人が歩き、賑わう街》

事　業　・　概　要	予算額
	千円
（1）中心市街地の活性化と観光施策の拡充	334,489
・お店ぐるりんタクシーの運行　39,749千円	
・まつり等開催補助　92,500千円	
高崎まつり補助、山車まつり補助及び高崎だるま市の開催など、引き続きまちなかの活性化を図る。	
・「高崎じまん」等への支援　142,240千円	
・高崎の食発信事業　60,000千円	
（2）豊岡新駅（仮称）設置事業	304,361
公共交通網の強化と地域住民の利便性向上のため、ＪＲ信越本線北高崎駅・群馬八幡駅間の新駅設置に向けた設計及び工事を行う。	
（3）市街地再開発事業	1,064,340
・高崎駅東口栄町地区第一種市街地再開発　230,000千円	
・宮元町第二地区優良建築物等整備　630,000千円	
・連雀町地区優良建築物等整備　172,000千円	
・高崎駅東口ペデストリアンデッキ整備　32,340千円	
（4）まちなか小さな公園美化大作戦５か年計画	250,761
街中にある小さな公園を計画的に美化することにより、地域住民の憩いの場となるよう整備を行う。	
（5）烏川かわまちづくり整備	277,048
烏川と街中との回遊性を高めるとともに、更なる水辺空間の魅力向上や高崎産フルーツなど農産物のブランド化を図るため、地域や民間と連携し、主に榛名地域の果物を提供するフルーツカフェを新たに整備する。	